

# 今こそ考えよう 平和の尊さ

あなたにとって「平和」とは何ですか？

「みんなが笑顔でいられること」「仲良く暮らせること」一。

他にもいろいろな答えがあると思います。今、私たちは平和に暮らしていますが、世界では各地で戦争や紛争、内戦などが起きています。

かつて、日本も戦争をしていました。枚方でも、戦争で使われる爆弾や砲弾を作っていた時代があり、1939（昭和14）年3月1日に、軍需工場の一つである禁野火薬庫が大爆発し、多くの死傷者を出す大惨事が起こっています。

このような悲惨な出来事を経て、戦後、市民による平和運動が行われました。そして、枚方市は「軍需のまち」から「平和のまち」へと生まれ変わったのです。

この冊子を読み、私たちが住むまちの戦争の歴史と平和への取り組みを知ることで、平和の尊さを学び、戦争のない平和な世界の実現のために自分ができることを考え、行動するきっかけとなることを願っています。

枚方市

## 目次

広島・長崎の悲劇	3ページ
軍需のまちだった枚方市	4ページ
禁野火薬庫大爆発	6ページ
伝えたい 平和の大切さ	8ページ
平和のために私たちができること	10ページ



被爆直後のきのこ雲全景（航空写真）  
（広島平和記念資料館提供 / 米国国立公文書館所蔵）

核兵器は、ウランやプルトニウムの核分裂反応を使った、すさまじい破壊力を持つ爆弾です。爆発によって一度に大量の人間を殺すだけでなく、周囲に強い放射線を出します。その場は生き延びても、被ばくによって、がんや白血病などの病気になって死ぬ人がたくさん出ます。日本は、この人類が作った史上最悪の兵器が落とされた唯一の国です。アメリカは、1945（昭和20）年8月6日に広島へ、9日には長崎へ原子爆弾（原爆）を落としました。原爆が落とされた年に、広島では約14万人、長崎では約7万4千人が亡くなりました。その後も放射線の影響でたくさんの人が死亡し、被爆者は何年経っても不安を抱え続けています。

## 人類史上、初めて原子爆弾が投下 広島・長崎の悲劇



松山町の高台から浦上天主堂方面を望む  
（長崎原爆資料館所蔵）



広島県産業奨励館（原爆ドーム）と爆心地付近  
（広島平和記念資料館提供）



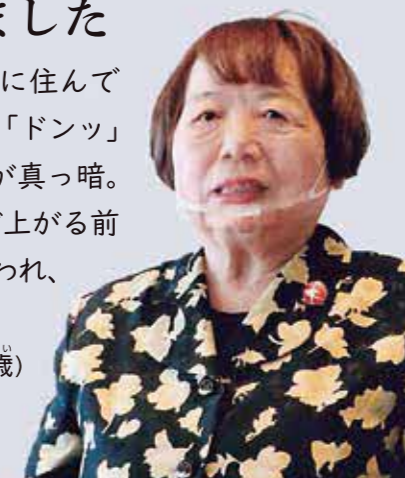
着物の模様を現している背中の熱傷  
（広島平和記念資料館提供）

## 証言

### 破壊されたまちの中、 姉と共に必死で逃げました

当時、爆心地から1.8kmの広島市の楠木町に住んでいました。朝食の時、突然「ピカッ」と光り、「ドンッ」という衝撃で気絶しました。気付くと目の前が真っ暗。崩れた家の下敷きになっていました。火の手が上がる前に逃げるため、母から「早く逃げなさい」と言われ、姉と手を繋いで必死に逃げました。

森 容香さん（当時5歳）



## 証言動画

枚方市原爆被害者の会の会長を務める森さん。「生き残った者が語らなければ、被爆の悲惨さは伝わらない」と小学校などで自らの体験と核兵器廃絶への思いを語り続けています。

市公式  
YouTube

